



今日に思い明日に望む

石原産業株式會社々長

住 吉 四 郎

我々經濟人にとつての本年の課題は經濟の自立促進と講和の早期達成でなければならぬ。講和問題は獨り政黨や政治家のみに委して置くべきではないと思う。若し本年の中に講和が成立して自主的獨立が認められたとしても、一方經濟の自立なくして眞の獨立國家といひ得るだろうか。政治的にも經濟的にも全く自主自立してこそ名實共に眞の獨立國家といひ得るのだと思う。

それでは果して我々の經濟は自立の域に達しているだろうか。遺憾ながら無論まだそれまでに至っていない。一例を鑛工業の生産についてみれば、ほぼ戦前の指數にまで回復しているようであり、又貿易にしても輸出入共にそれぞれ戦前の約半額見當まで達しているようであるが、その内輸入については戦後今日まで我々の自力に依つて賄つたものは僅かに全體の約四割に過ぎないのであつて、あとの約六割はアメリカの援助に依つて始末である。それでは果して日本經濟の自立は可能であろうか。それは勿論必ずしも容易ではないが、不可能ではないと信ずる。要は何といつても國民各自殊に我々經濟人のこれに對する心構えと努力如何にあると思う。この意味においても我々經濟人に課せられた責務は全く重大だといわなければならない。

由來經濟というものは畢竟人倫の關係に奉仕するものと自分は信じているのであるが、果してそうだとするならば、苟くも經濟人たるものはその根底において倫理道德の基盤に立つものでなければならぬと思う。殊に戦後の今日經濟人としてお互に苟くも事業の指導的立場にあるものには、特にこの心構えが大切であり肝要ではなからうかと思う。このような考えと心構えで三十餘年私は經濟關係にたずさわつてきたのであるが、私は自分の仕事を越えて國家社會に奉仕し、國民の生活の福祉に寄與し得ることに限りなき愉快を感じ、又そのような自分の仕事をもつことを常にこの上なく幸福に思うのである。

今日倫理といひ道德といひの、それは他人のことではなくして先ず自己今日のことであつて、要するに人間が人間としての生存の意義を充たすために踏み行ふべき道に他ならぬ。そのような人間の道が各人一般に行われ、その道に従つてお互の社會が構成されるならば、各人が各自にその天賦の個性を十分に發展させて人間完成の理想に近づき、従つて各人はそれぞれに生きがいを感じ生存を悦び得るのである。そして一日も速に日本經濟の自立を達成し、祖國日本をして在るべき日本たらしむることが今日に生きる我々殊に經濟人の最も重要な課題だと思ふ。天は自ら助くる者を助くといふ。この反省こそ眞に平和の回復實現と經濟の自立達成の前提であり、そして祖國日本を救う不可缺の條件だと信ずる。

日本鑛業協會誌 (第四卷第二號)

二月號 目次

(卷頭言)

☆今日に思い明日に望む……住 吉 四 郎……三

(論 說)

☆國際情勢と非鐵金屬鑛業……………四

☆米國銅關稅問題概觀(下)

古河鑛業調査課……六

☆電氣發破法と集束導火線による

同時點火法……………大和田清夫……二八

(スポット)

☆金屬鑛業二五年度上期決算……………二六

(協會賞研究發表)

☆尾去澤鑛業所に於けるS₁G改造型

ジャックストローパーに就て……千葉政次……三〇

☆今昔話(二)……………是 永 桃 吉……二六

☆鑛山めぐり(佐渡鑛山の巻)……………二六

▽あめりか通信(三)……………平塚保明……二五

▽國産ジャンボ第二號機……………二七

▽「鑛山の科學管理」……………二五

▽「誌上鑛業相談」……………二七

▽「ニユース」……………二〇

▽資 料……………三三

(表紙寫眞)

同和鑛業柵原鑛山

六〇〇型カーローダーによる鑛石積込作業